

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

＜TEL＞ 055-997-1336

＜E-Mail＞ junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

＜FAX＞ 055-997-5745

＜URL＞ <https://www.jn-susono-web.com>

静岡県でも外国人観光客が増えているらしい。裾野市へも期待できる！？



アフターコロナの名の下に観光目的を中心とした外国人観光客の来日による経済復興に期待を寄せる日本。裾野市も観光基本計画を策定中です。9月の隙間時間に三島駅南口でトリップインタビューをしました（個人的に）。なぜ三島駅？多国籍観光客がキャリーケースを抱えて溢れかえっていたからです！

5日間2時間ずつのインタビューで、東海道新幹線三島駅で降車した理由から分かったのは、多い順番に、

- ① 山梨県観光のため（河口湖行きバスに乗り換え）
- ② 伊豆観光のため（伊豆箱根鉄道乗り換え）
- ③ 富士山観光のため（三島のホテルにチェックイン）

でした。③は三島に宿泊しつつサイクリングで観光する方が多く、三島スカイウォーク、御殿場プレミアムアウトレットなどの名が出ていました。残念ながらSusonoは目的地として出てきませんでした。新幹線は有効な移動手段で、駅毎にかなり広範囲での観光スポットがインプットされている感じでした。しかも、一つの新幹線駅での目的を達成すると、次の日は別の目的のため新幹線で移動（例えば、三島で降りて河口湖を観光したら、次の日は京都観光といった具合）する行程をよく聞きました。

海外からの観光客は主たる目的を達成すると次の場所へ移動。日本人観光客は主要拠点を決めて滞在し、その周辺を観光する傾向にあるのかもしれませんが。さて裾野は、交流人口、関係人口増加策のターゲットをどこに置くと良いのでしょうか？またその受け入れの心構えは醸成されていますか？

9月定例会より（本年度補正予算、令和4年度決算）

■R5年度の人件費

デジタル部の新設などで管理職手当 273万円増
（2人目の副市長は未だ現れず、その給与は減額）

■首都圏からの移住者に向けた補助金を追加増額

県の制度（単身移住60万円、家族移住100万円）を上限の600万円まで活用します。確定済みの「首都圏からの移住者」は、単身4件、家族3件。首都圏近郊以外からの移住者は非対象で、不公平感が残ります。そこで、補助金受給者に当面の間、移住に関する施策への協力を担って頂く義務を付けられるよう制度改正を要望。補助金目的で移住する訳もなく、きちんと意味ある税金として使ってもらいます。移住者視線の協力をお願いします。



■英語教育体制の安定化

ネイティブ英語への慣れを定着させるため、外国語を母国語としている外国人指導者を確保することに力を入れています。ただ英語を話すだけではなく、子どもの成長を見ながら指導してもらうためには、指導力、洞察力を持った指導員の確保が重要。そこで、単年ではなく長期委託契約（3年）できる様に変更しR6年度から対応していくことになります。

■千福佐野川護岸改修は、R6年度末完了予定。

6月上旬の台風災害で通行止めとなっている市道1-5号線。住民の車両移動にも大きな影響を及ぼしていますが、復旧工事は川の増水がない時期に行う必要があります。災害査定が完了し約2億円かけて復旧させることになりましたが、今年度中の完了は見込めず、来年度の梅雨・台風シーズンを跨ぎ、来年度末まで工事が続きます。

裾野市の南北をつなぐ道路に弱みが名実ともに明らかになりました。事故があってからでは遅い。災害はもとより、生活視点で姿勢の見直しが必要です。

■朝夕の渋滞が多くなっているのは何故？

千福から葛山地区に続く道路が、佐野川の被災で通行止めとなった関係で、富士裾野線（須山街道）や国道246号に車両が集中してしまっています。この影響は来年度末まで続く見込みです。

また平松踏切拡幅工事が10月から始まりますので、市道1-4号線（農免道路）や県道24号への迂回が12月末まで影響すると思われます。

■ウーブンシティの建設が進められているけど、市民向けには情報はないの？

トヨタ自動車東日本さんの工場跡地では、着々と工事が進められているようで、建物の骨組みも見えてきました。情報発信については分かりませんが、開発された自動運転EV（イーパレット）を市内で予定のイベントや富岡地区での公道試行走行（有人）などで、展示しつつ活動を紹介するそうです。

トヨタさんの発信のほか、市のイベントもチェックしてみてください。

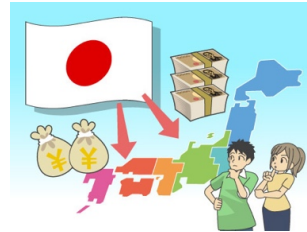


富岡地区夏祭り →

ふれあいフェスタすその（産業祭）でも展示

■お金がないと言うのに黒字決算？どう言う事？

令和4年度一般会計の単年収支は約5億44百万円の黒字。貯金でもある財政調整基金を崩さずに済みました。業績回復している企業等からの法人税など市税収入が大きかった事が収入側の要因。支出側は、財政非常事態の支出抑制に加えて、コロナ禍対応で国からの補助金が交付されたため、予定された事業を、市の財布から出さずに事業できたことなどが要因です。多様に使える財源を残せたとも言えます。



しかし今年は、コロナ関連の交付金はほぼ無く、自らの財布頼み。物価高で消費停滞？すると企業業績は？市税収入の伸びは不透明。と言うことで、黒字を継続できるかは不確定。

支出を抑えるばかり（何もしない）の黒字、色々やりすぎた赤字は、どちらも×。黒字の行政経営は市民福祉の充実とのバランスが評価のポイントです。



各種活動のご紹介

●ものづくり産業各種団体と勤労者施策について対話

- ・JAM構成組織の諸組合
- ・各種業界の中小企業各社



●各種行事に参加させて頂き挨拶

私の想いも伝えさせて頂いています。

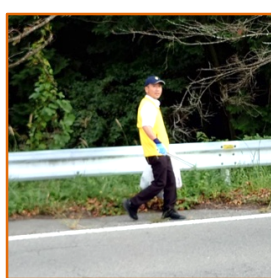


●会派活動は政策提言への礎



●地域力高めていますか？

地域活動、奉仕作業は、一人でも、みんなとでもできる活動。一歩踏み出せるかどうかです！お声かけくださいませ。



QRコードを読み込むと、ホームページが、ご覧頂けます。



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。